

(11) 小学校・中学校

1) 施設概要

① 施設一覧

本市には、小学校19校、中学校6校の合計25校が設置され、延床面積の合計は12万1,411㎡となっています。施設規模をみると、小学校の延床面積は、北小学校の2,651㎡(5学級)から東小学校の7,691㎡(17学級)、中学校の延床面積は、城南中学校の5,180㎡(6学級)から平成24年度に建築された八郷中学校の8,712㎡(15学級)となっています。

表 施設一覧

(平成27年5月1日現在)

	名称	住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
						通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
小 学 校	1 石岡小学校	総社一丁目2番10号	32,003	6,980	昭和42	325	4	12	2
	2 府中小学校	若松一丁目11番18号	24,230	6,059	昭和42	452	8	14	3
	3 高浜小学校	高浜62番地	15,839	3,809	昭和53	86	3	6	1
	4 東小学校	旭台一丁目11番3号	25,305	7,691	平成22	581	26	17	5
	5 三村小学校	三村1853番地	10,774	3,814	昭和40	78	1	6	1
	6 関川小学校	石川1153番地	13,775	2,847	昭和59	44	0	4	0
	7 北小学校	根当10949番地	13,914	2,651	平成25	62	4	5	2
	8 南小学校	南台四丁目1番1号	28,621	5,084	昭和50	459	5	15	2
	9 杉並小学校	杉並二丁目3番1号	23,625	5,349	昭和52	362	5	12	2
	10 園部小学校	宮ヶ崎6番地	18,911	3,780	昭和55	210	7	8	2
	11 東成井小学校	東成井996番地	14,389	2,982	昭和51	133	0	6	0
	12 瓦会小学校	瓦谷1135番地2	11,223	2,963	昭和54	80	4	6	1
	13 林小学校	下林857番地1	15,913	3,746	昭和56	161	2	6	1
	14 恋瀬小学校	小見832番地1	12,984	3,181	昭和60	101	7	6	2
	15 葦穂小学校	小屋1054番地	13,416	3,434	平成4	78	3	6	1
	16 吉生小学校	吉生513番地2	13,402	2,817	昭和53	38	0	4	0
	17 柿岡小学校	柿岡2159番地2	17,740	4,138	昭和47	184	5	6	2
	18 小幡小学校	小幡4080番地	15,171	3,452	昭和59	107	1	6	1
	19 小桜小学校	川又746番地	15,188	3,593	平成5	101	3	6	2
小学校計			336,423	78,370		3,642	88	151	30
中 学 校	1 石岡中学校	東石岡四丁目2番1号	25,722	7,888	昭和53	538	11	16	3
	2 府中中学校	若松二丁目6番5号	31,001	8,520	昭和55	490	8	15	2
	3 城南中学校	高浜112番地	31,467	5,180	昭和36	140	1	6	1
	4 国府中学校	総社二丁目12番1号	33,024	7,125	昭和58	158	1	6	1
	5 園部中学校	山崎1862番地	22,783	5,616	平成3	179	4	6	2
	6 八郷中学校	柿岡3513番地2	39,021	8,712	平成24	516	15	15	2
中学校計			183,018	43,041		2,021	40	64	11
学校施設合計			519,441	121,411		5,663	128	215	41

※「建築年度」は、校舎棟(又は特別教室棟など主要棟)で最も古い建築年度を記入

2) 実態把握

① 児童生徒数及び学級数の状況

児童生徒数及び学級数の状況を見ると、小・中学校の児童生徒数は、昭和57年度の1万1,521人をピークに減少しており、平成27年5月1日時点では、5,791人とピーク時の約50%となっています。今後も年少人口の減少を踏まえると、児童生徒数は減少が予測されます。

平成27年度の学校別単式学級数では、小学校が平均7.9学級（1学年当たり約1学級）、中学校が平均10.7学級（1学年当たり約3学級）です。11学級以下の小規模校が、小学校は14校、中学校で3校（城南中学校・国府中学校・園部中学校）となっています。

図 児童生徒数の推移（各年5月1日）（特別支援学級含む）

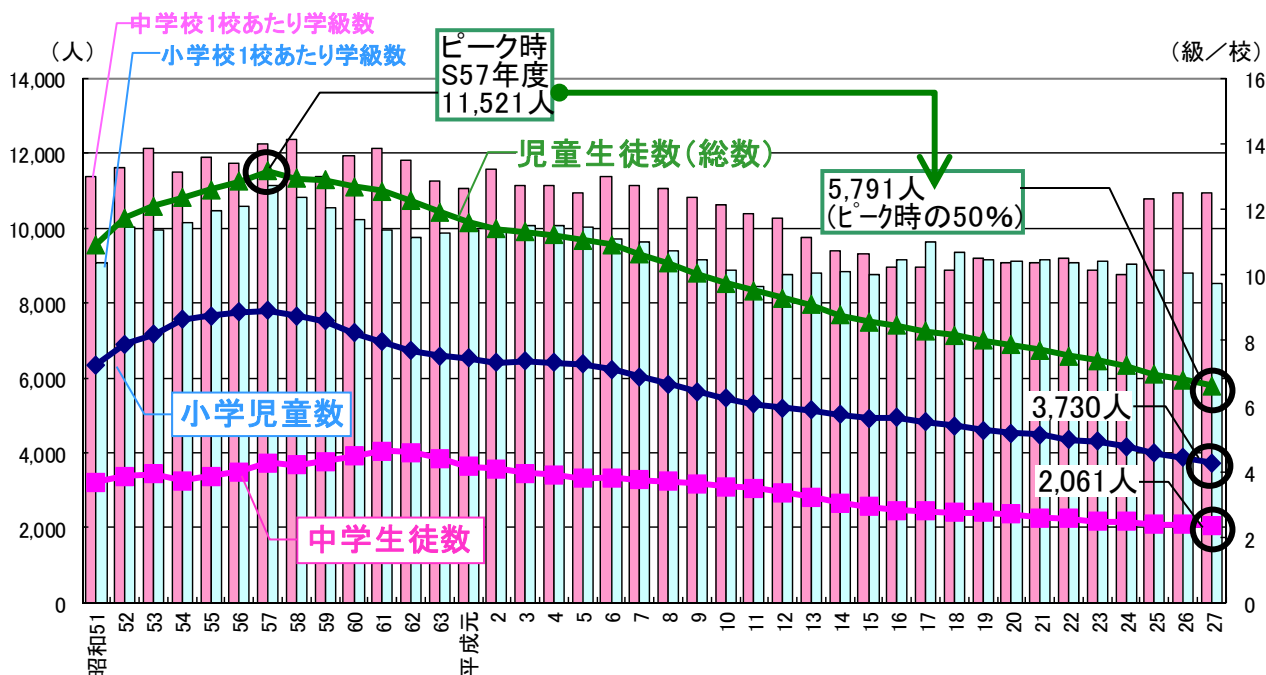
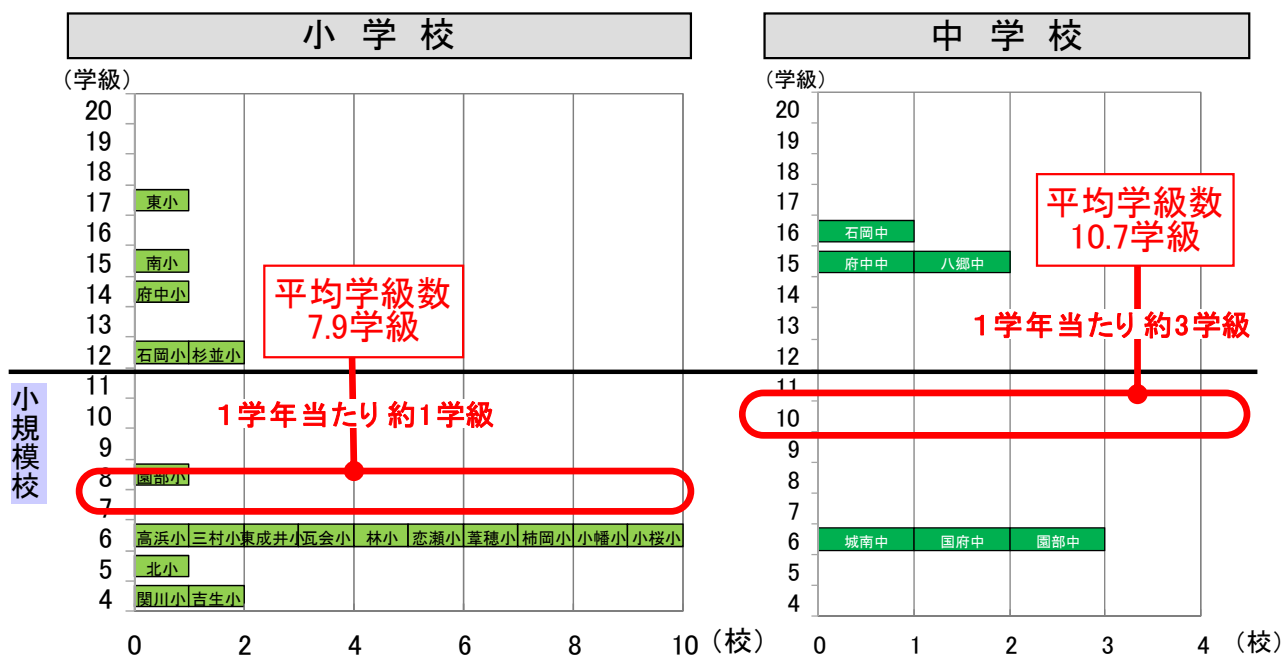


図 単式学級数の状況（平成27年5月1日）



■ 学校位置図

府中中学校区・石岡中学校区の年少人口は40%以上の大幅な減少が予測されています。将来の年少人口の動態と現在の学校配置状況、さらには児童生徒数の推移を見比べて、教育環境の維持・向上の観点から学校施設の適正配置についても検討が必要です。

図 小学校別児童数推移及び地区別年少人口推計（H27-H47）

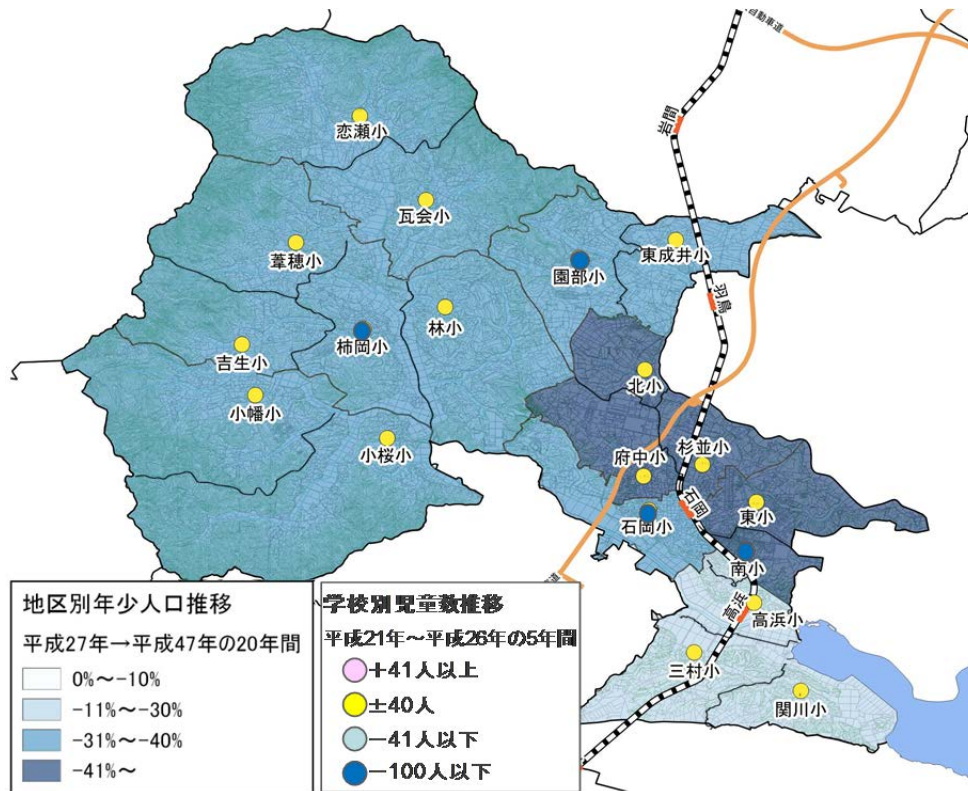
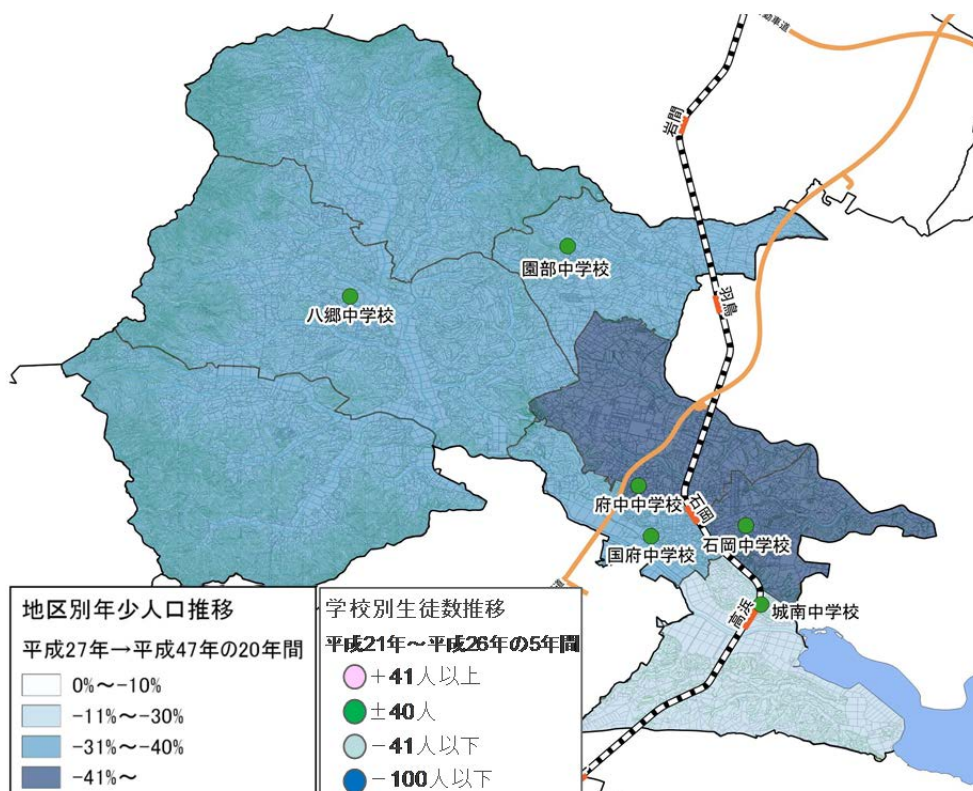


図 中学校別生徒数推移及び地区別年少人口推計（H27-H47）



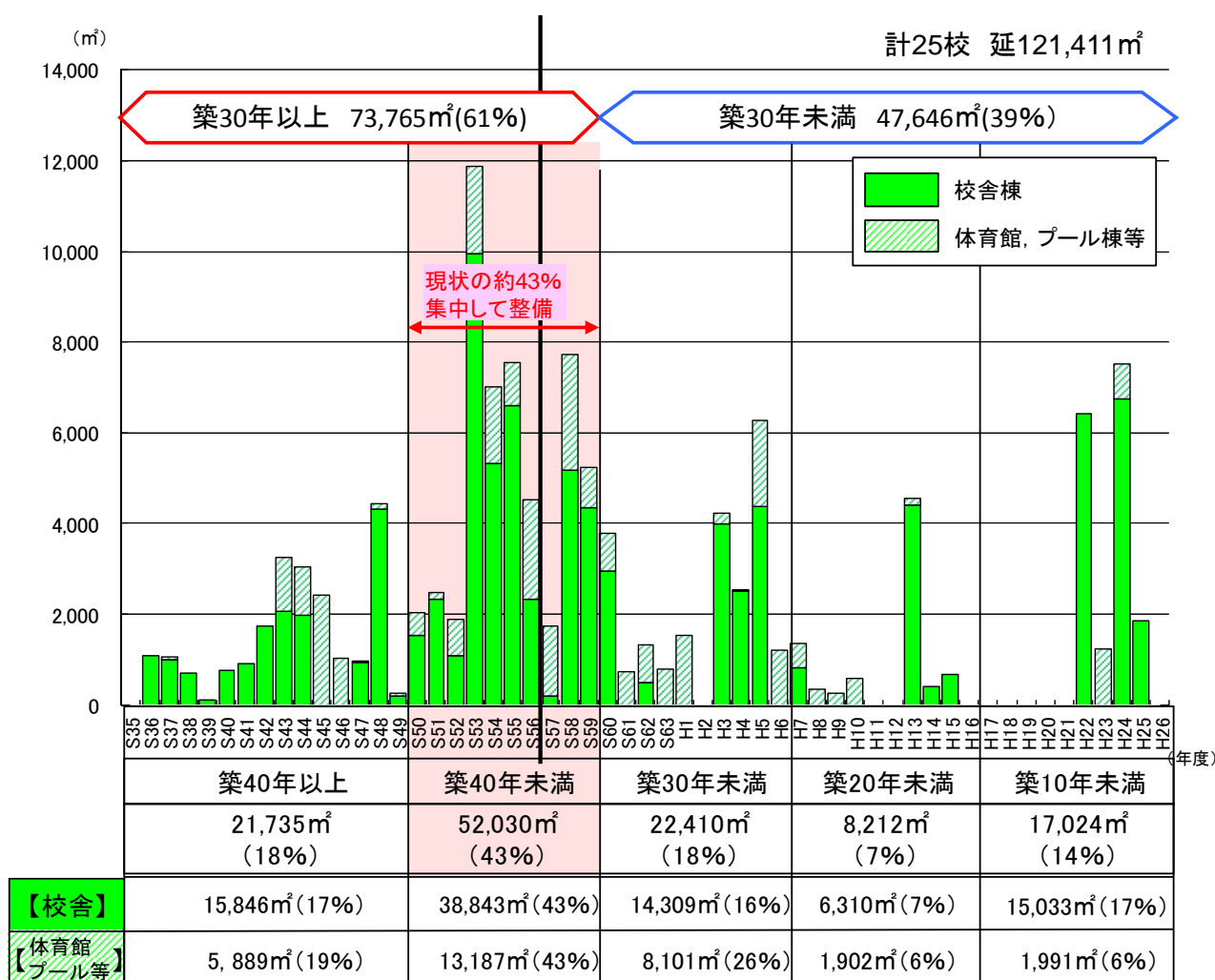
② 施設の整備状況

学校施設の整備状況は、築30年以上の建物が約7.4万㎡と全体の約61%を占めており、公共施設全体（築30年以上の割合が約53%）に比べ、老朽化が進展しています。

学校施設は、昭和50年から昭和59年までの10年間で、現状の約43%の施設が集中的に整備されました。今後、これらの施設を含め、学校施設の6割近くに対し、老朽化対策等を行う必要があります。

校舎棟、体育館・プール棟別の整備状況では、校舎棟は築30年以上の割合が全体の約60%、体育館・プール棟等も築30年以上の割合が約62%となっており、校舎棟・体育館棟いずれについても老朽化対策が必要となります。

図 築年別整備状況



(出典：財産報告書 平成25年3月末現在)

■ 小学校・中学校の建物総合評価

平成27年度の小学校19校と中学校6校の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応	⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)			
		建築年度	延床面積(㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	車いす用エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロッック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	石岡小学校	昭和42	6,980	実施済み	48	-	48	×	×	×	×	×	△	×	×	△	676	247	378
2	府中小学校	昭和42	6,059	実施済み	48	-	48	△	×	×	×	×	△	×	×	△	1,113	191	953
3	高浜小学校	昭和53	3,809	実施済み	37	-	37	×	×	×	×	×	△	×	×	△	563	458	260
4	東小学校	平成22	7,691	不要	5	-	5	○	○	△	△	×	△	×	○	△	744	239	66
5	三村小学校	昭和40	3,814	実施済み	50	-	50	△	×	×	×	×	△	×	×	△	662	506	294
6	関川小学校	昭和59	2,847	不要	31	-	31	×	×	×	×	×	△	×	×	△	635	865	2,770
7	北小学校	平成25	2,651	不要	2	-	2	△	×	△	△	×	△	×	×	△	938	451	104
8	南小学校	昭和50	5,084	実施済み	40	-	40	×	×	×	×	×	△	×	×	△	914	205	171
9	杉並小学校	昭和52	5,349	実施済み	38	-	38	×	×	×	×	×	△	×	×	△	666	190	1,668
10	園部小学校	昭和55	3,780	実施済み	35	-	35	×	×	×	×	×	△	×	×	△	846	379	680
11	東成井小学校	昭和51	2,982	実施済み	39	-	39	×	×	×	×	×	△	×	×	△	783	266	728
12	瓦会小学校	昭和54	2,963	不要	36	-	36	△	×	×	×	×	△	×	×	△	627	428	171
13	林小学校	昭和56	3,746	実施済み	34	-	34	△	×	×	×	×	△	×	×	△	771	402	137
14	恋瀬小学校	昭和60	3,181	不要	30	-	30	△	×	×	×	×	△	×	×	△	746	419	343
15	葦穂小学校	平成4	3,434	不要	23	-	23	△	×	×	×	×	△	×	×	△	763	310	477
16	吉生小学校	昭和53	2,817	不要	37	-	37	×	×	×	×	×	△	×	×	△	870	268	590
17	柿岡小学校	昭和47	4,138	実施済み	43	-	43	△	×	×	×	×	△	×	×	△	615	325	1,058
18	小幡小学校	昭和59	3,452	不要	31	-	31	×	×	△	×	×	△	×	×	△	599	296	378
19	小桜小学校	平成5	3,593	不要	22	-	22	×	×	×	×	×	△	×	×	△	661	306	959

記載例	③	○:劣化がみられないもの △:一部に劣化がみられるもの・不明 ×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの	④⑤	○:実施済 △:一部実施・不明 ×:未実施	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要」には、耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と、新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。 また、耐震化については校舎棟の状況を記入しております。 ※⑥維持管理は平成26年度のコストによる評価です。
	⑥の凡例 :用途平均値の1.4倍以上のもの				

耐震補強工事については、平成27年度をもって完了しており、耐震化率が100%となりました。しかし、石岡小学校等15校について、老朽化が進行しているため、老朽化対策を含めた早急な対応が必要です。

劣化状況については、10校で屋根または外壁等の重要部位に劣化が見られます。バリアフリー化は、手すりなど全校で対応を進めているものもありますが、未対応の項目も多い状況です。

老朽化や劣化対策は、小学校全体としての対策が急がれるものと思われまます。

また、維持管理費が割高になっているものが6校あります。効率の低い設備や老朽化等による修繕を繰り返しているものがないかなどの検証が必要と思われまます。

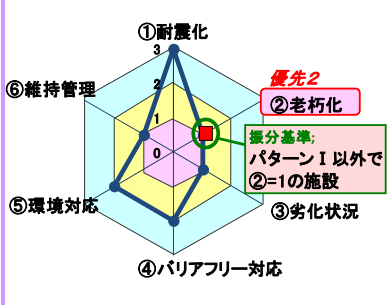
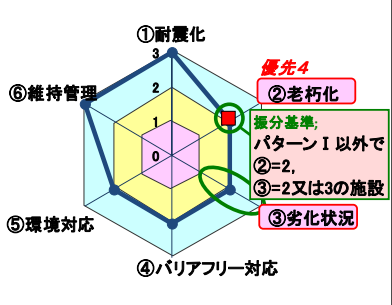
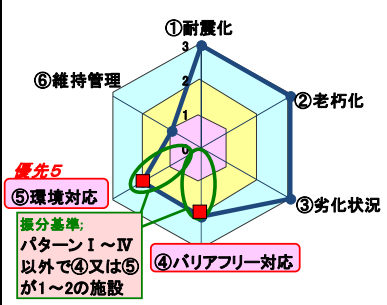
	パターンⅡ 老朽化	パターンⅢ 劣化対策	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応																																														
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・重要部位に修繕の必要な劣化 ⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設</p>	<p>・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>																																														
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>石岡小学校</td><td>昭和42</td></tr> <tr><td>府中小学校</td><td>昭和42</td></tr> <tr><td>高浜小学校</td><td>昭和53</td></tr> <tr><td>三村小学校</td><td>昭和40</td></tr> <tr><td>関川小学校</td><td>昭和59</td></tr> <tr><td>南小学校</td><td>昭和50</td></tr> <tr><td>杉並小学校</td><td>昭和52</td></tr> <tr><td>園部小学校</td><td>昭和55</td></tr> <tr><td>東成井小学校</td><td>昭和51</td></tr> <tr><td>瓦会小学校</td><td>昭和54</td></tr> <tr><td>林小学校</td><td>昭和56</td></tr> <tr><td>恋瀬小学校</td><td>昭和60</td></tr> <tr><td>吉生小学校</td><td>昭和53</td></tr> <tr><td>柿岡小学校</td><td>昭和47</td></tr> <tr><td>小幡小学校</td><td>昭和59</td></tr> </tbody> </table> <p>< 15 施設 ></p>	該当施設	建築年度	石岡小学校	昭和42	府中小学校	昭和42	高浜小学校	昭和53	三村小学校	昭和40	関川小学校	昭和59	南小学校	昭和50	杉並小学校	昭和52	園部小学校	昭和55	東成井小学校	昭和51	瓦会小学校	昭和54	林小学校	昭和56	恋瀬小学校	昭和60	吉生小学校	昭和53	柿岡小学校	昭和47	小幡小学校	昭和59	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>小桜小学校</td><td>平成5</td></tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	小桜小学校	平成5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>葦穂小学校</td><td>平成4</td></tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	葦穂小学校	平成4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東小学校</td><td>平成22</td></tr> <tr><td>北小学校</td><td>平成25</td></tr> </tbody> </table> <p>< 2 施設 ></p>	該当施設	建築年度	東小学校	平成22	北小学校	平成25
該当施設	建築年度																																																	
石岡小学校	昭和42																																																	
府中小学校	昭和42																																																	
高浜小学校	昭和53																																																	
三村小学校	昭和40																																																	
関川小学校	昭和59																																																	
南小学校	昭和50																																																	
杉並小学校	昭和52																																																	
園部小学校	昭和55																																																	
東成井小学校	昭和51																																																	
瓦会小学校	昭和54																																																	
林小学校	昭和56																																																	
恋瀬小学校	昭和60																																																	
吉生小学校	昭和53																																																	
柿岡小学校	昭和47																																																	
小幡小学校	昭和59																																																	
該当施設	建築年度																																																	
小桜小学校	平成5																																																	
該当施設	建築年度																																																	
葦穂小学校	平成4																																																	
該当施設	建築年度																																																	
東小学校	平成22																																																	
北小学校	平成25																																																	
コメント	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																																														

維持管理費が割高な施設	<p>・右記の施設は、維持管理費が用途内の平均値から1.4倍以上となっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性が考えられますので、以下のような点について検証が必要です。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>府中小学校</td><td>昭和42</td></tr> <tr><td>三村小学校</td><td>昭和40</td></tr> <tr><td>関川小学校</td><td>昭和59</td></tr> <tr><td>杉並小学校</td><td>昭和52</td></tr> <tr><td>柿岡小学校</td><td>昭和47</td></tr> <tr><td>小桜小学校</td><td>平成5</td></tr> </tbody> </table> <p>< 6 施設 ></p>	該当施設	建築年度	府中小学校	昭和42	三村小学校	昭和40	関川小学校	昭和59	杉並小学校	昭和52	柿岡小学校	昭和47	小桜小学校	平成5
	該当施設	建築年度														
府中小学校	昭和42															
三村小学校	昭和40															
関川小学校	昭和59															
杉並小学校	昭和52															
柿岡小学校	昭和47															
小桜小学校	平成5															
<p>・各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている</p> <p>・古く効率の低い設備が使用され続けている</p> <p>・利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている</p>																

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応	⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)			
		建築年度	延床面積(㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	工車いす用エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	石岡中学校	昭和53	7,888	実施済み	37	-	37	×	×	×	△	×	△	×	×	△	1,087	156	764
2	府中中学校	昭和55	8,520	実施済み	35	-	35	×	×	×	×	×	△	×	×	△	797	127	151
3	城南中学校	昭和36	5,180	実施済み	54	-	54	×	×	×	×	×	△	×	×	△	713	309	1,165
4	国府中学校	昭和58	7,125	不要	32	-	32	×	×	×	×	×	△	×	×	△	545	151	271
5	園部中学校	平成3	5,616	不要	24	-	24	△	×	×	×	×	△	×	×	△	553	254	276
6	八郷中学校	平成24	8,712	不要	3	-	3	○	○	△	△	×	△	×	○	△	1,131	198	6,332

記載例	③	○:劣化がみられないもの △:一部に劣化がみられるもの・不明 ×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの	④ ⑤	○:実施済 △:一部実施・不明 ×:未実施	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器, 高効率照明器具・LED照明, 雨水・中水設備 ※①の「不要」には, 耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と, 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。 また, 耐震化については校舎棟の状況を記入しております。 ※⑥維持管理は平成26年度のコストによる評価です。
	⑥の凡例 :用途平均値の1.4倍以上のもの				

中学校においても、平成27年度をもちまして耐震補強工事がすべて完了いたしました。しかし、石岡中学校等4校について老朽化が進行しており、外壁等の重要部位に劣化がみられることも合わせ、早急な対応が必要です。バリアフリー化も小学校と同様、今後の対応が望まれます。また、維持管理費が割高になっている施設が2校ありますので、対策が必要なものか検証がのぞまれます。

評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応																		
	<p>・老朽化が進行している ⇒ 建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> 	<p>・今後、老朽化が進行する ⇒ 今後老朽化対策の検討が必要になる施設</p> 	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒ 今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> 																		
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石岡中学校</td> <td>昭和53</td> </tr> <tr> <td>府中中学校</td> <td>昭和55</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>昭和36</td> </tr> <tr> <td>国府中学校</td> <td>昭和58</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 4 施設 ></p>	該当施設	建築年度	石岡中学校	昭和53	府中中学校	昭和55	城南中学校	昭和36	国府中学校	昭和58	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園部中学校</td> <td>平成3</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	園部中学校	平成3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八郷中学校</td> <td>平成24</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	八郷中学校	平成24
該当施設	建築年度																				
石岡中学校	昭和53																				
府中中学校	昭和55																				
城南中学校	昭和36																				
国府中学校	昭和58																				
該当施設	建築年度																				
園部中学校	平成3																				
該当施設	建築年度																				
八郷中学校	平成24																				
コメント	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																		
維持管理費が割高な施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南中学校</td> <td>昭和36</td> </tr> <tr> <td>八郷中学校</td> <td>平成24</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 2 施設 ></p> <p>・右記の施設は、維持管理費が用途内の平均値から1.4倍以上となっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性が考えられますので、以下のような点について検証が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている ・古く効率の低い設備が使用され続けている ・利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている 			該当施設	建築年度	城南中学校	昭和36	八郷中学校	平成24												
該当施設	建築年度																				
城南中学校	昭和36																				
八郷中学校	平成24																				

③ スペース構成

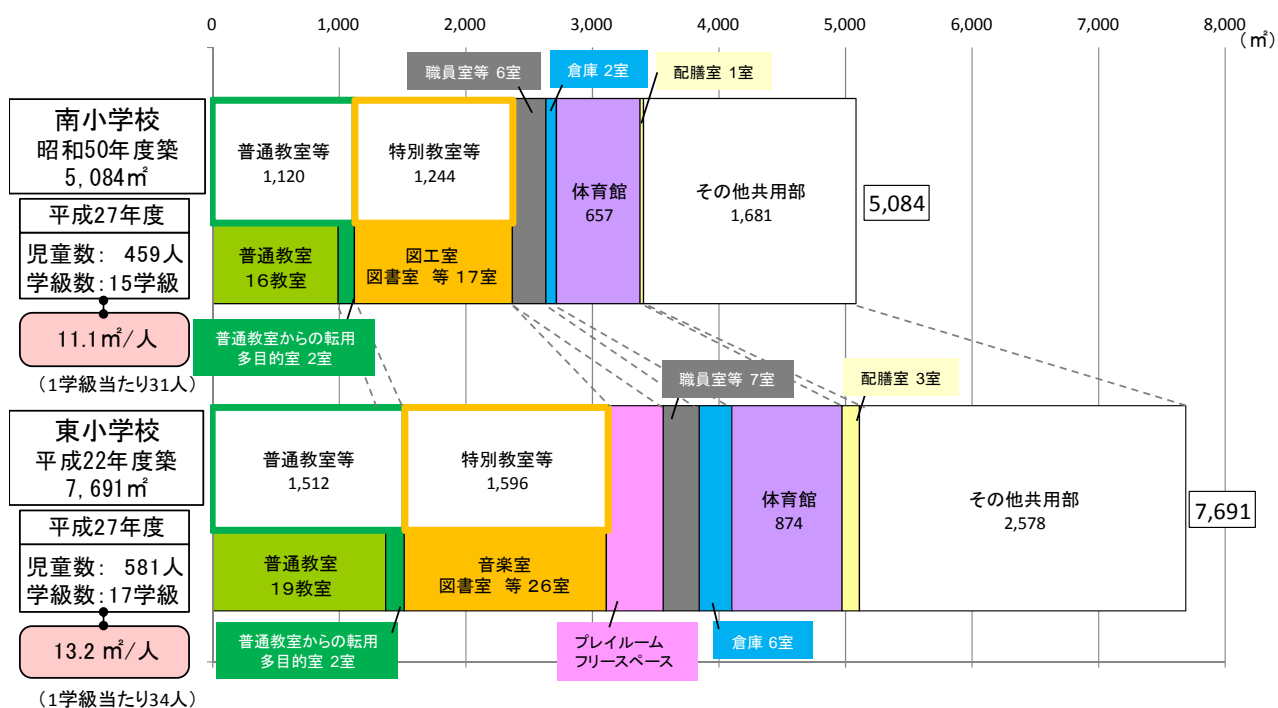
近年に建設した学校のスペース構成は、総合的な学習形態に対応するため、昭和30年代から50年代に整備された学校施設と比べると大きく変化しています。

例を挙げて、小学校の昭和50年度建築の南小学校と同じ大規模校である平成22年度建築の東小学校を比較してみます。

東小学校では、児童同士がふれ合うためのフリースペースを整備しているほか、少人数教室や相談室・教材室を複数整備するなど、機能の充実を図っていることが分かります。

また、児童1人当たり面積は南小学校の11.1㎡に対して、東小学校は13.2㎡とより余裕を持たせています。

図 スペース構成比較（小学校）



④ 学校体育施設開放等の状況

本市では、小・中学校の体育館と校庭を学校教育などに支障のない範囲で、空き時間を市民に開放しています。

表 学校体育施設開放状況

学校開放		体育館夜間開放	日曜校庭開放	夜間校庭開放
小学校	1 石岡小学校	●	●	
	2 府中小学校	●		
	3 高浜小学校	●		
	4 東小学校	●		
	5 三村小学校	●		
	6 関川小学校	●		
	7 北小学校	●	●	
	8 南小学校	●	●	
	9 杉並小学校	●	●	
	10 園部小学校	●	●	
	11 東成井小学校	●	●	
	12 瓦会小学校	●	●	
	13 林小学校	●	●	
	14 恋瀬小学校	●	●	
	15 葦穂小学校	●	●	
	16 吉生小学校	●	●	
	17 柿岡小学校	●	●	
	18 小幡小学校	●	●	
	19 小桜小学校	●	●	
学校開放		体育館夜間開放	日曜校庭開放	夜間校庭開放
中学校	1 石岡中学校	●		
	2 府中中学校	●		●
	3 城南中学校	●		●
	4 国府中学校	●		
	5 園部中学校	●		
	6 八郷中学校	●		

表 学校体育施設開放日時及び利用状況

学校開放		使用時間	休日	使用料	利用者数 H25(人)	利用者数 H26(人)
2	府中中学校	4月・9月～11月：午後6時～午後9時, 5月～8月：午後6時30分～午後9時30分	12月1日～ 3月31日	有料	2,825	4,000
3	城南中学校	1月～4月, 9月～12月：午後6時～午後9時, 5月～8月：午後6時30分～午後9時30分	12月28日 ～1月4日	有料	3,600	1,610

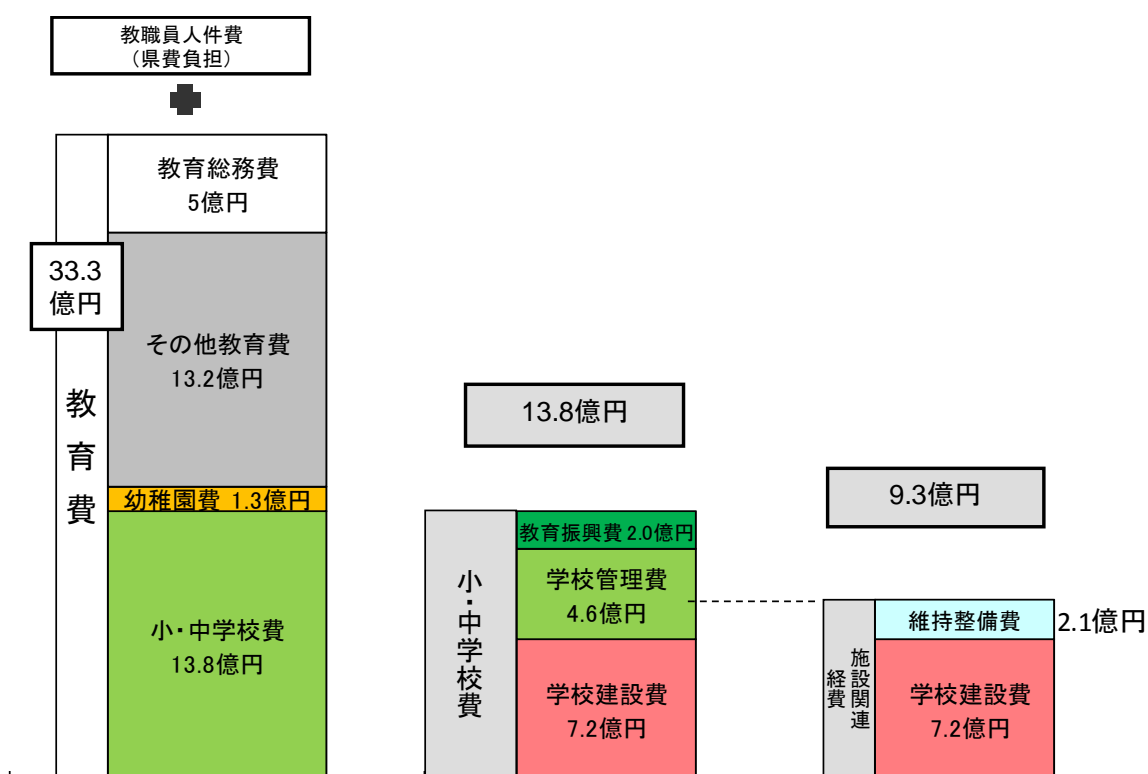
⑤ コスト状況

■ 教育費の状況

平成 26 年度決算による教育費は、約 33.3 億円です。内訳は、教育総務費約 5.0 億円、その他教育費約 13.2 億円、幼稚園費約 1.3 億円、小・中学校費約 13.8 億円となっています。小・中学校費のうち、光熱水費・修繕料・建物等管理委託料・学校建設費等の施設に関する「施設関連経費」は、約 9.3 億円（教育費の約 28%）で、1 校当たり約 3,720 万円となっています。

施設関連経費としては、学校建設費が約 7.2 億円、維持整備費が約 2.1 億円となっています。

図 教育費の状況（平成 26 年度）



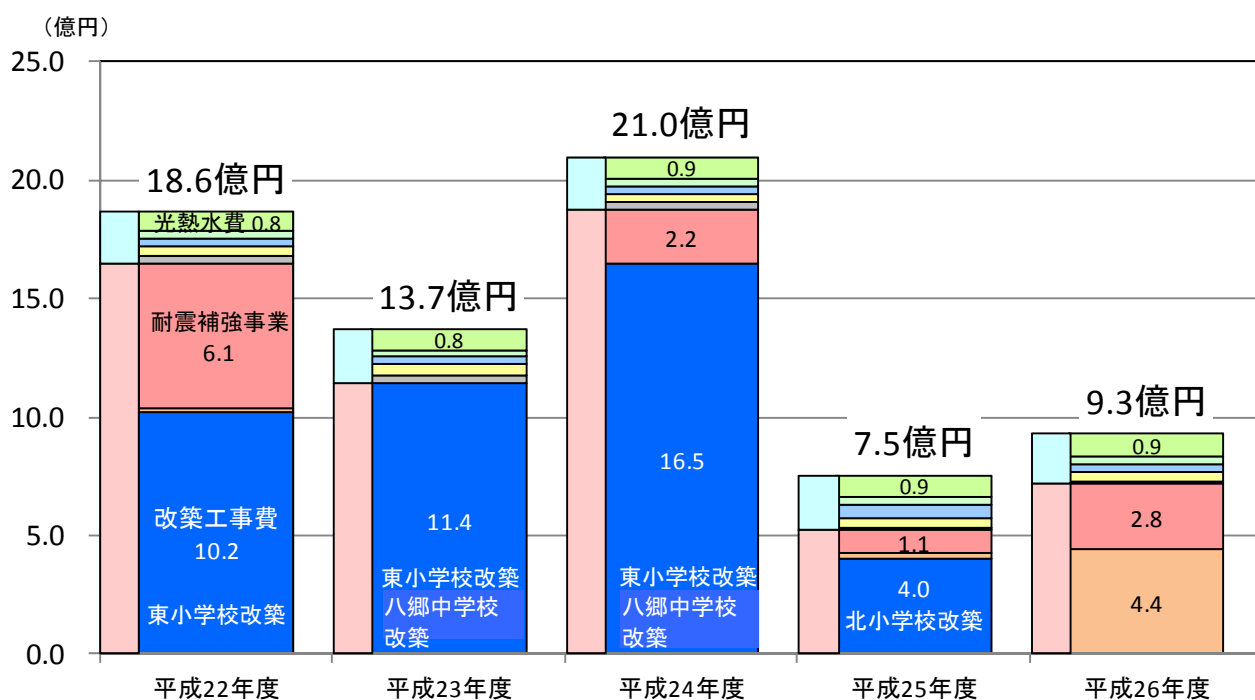
■ 施設関連経費の状況

施設関連経費約9.3億円のうち学校建設費の4.4億円は、小学校普通教室への空調機整備工事です。

平成22年度から平成25年度の推移をみると、東小学校、北小学校及び八郷中学校の改築工事を行うと共に、校舎棟や屋内運動場棟の耐震補強工事を行っています。

なお、維持管理費（光熱水費・修繕料・建物管理等委託料）は、毎年約1.4億円から約1.7億円とほぼ同程度で推移しています。

図表 施設関連経費の推移



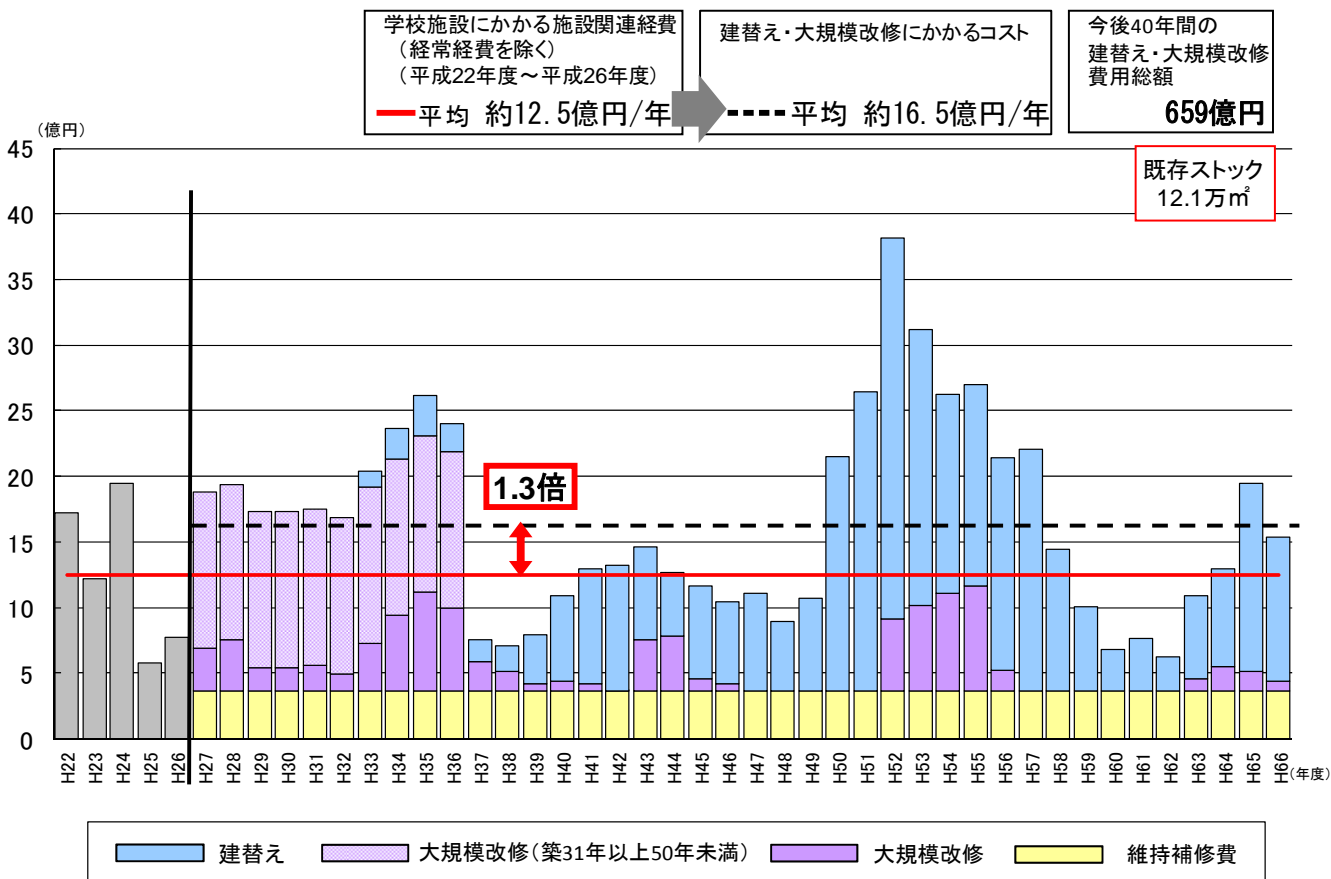
(千円)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
維持整備費	維持管理費	光熱水費	81,445	84,322	94,567	86,061	94,689
		修繕料	26,584	28,347	28,386	33,397	27,734
		建物管理等委託料等	31,785	34,616	34,016	56,119	33,868
		経常経費計	139,814	147,285	156,969	175,577	156,291
学校建設費	施設整備費	39,831	49,563	33,790	46,970	45,953	
	校舎・用地借上	35,191	32,811	32,160	1,711	1,712	
	安全対策費	609,473	0	224,024	105,298	281,675	
	機能向上	14,942	0	0	21,315	441,261	
	用地取得	0	39,012	13,956	0	0	
改築工事費		1,023,881	1,100,295	1,636,978	401,224	0	
合計			1,863,132	1,368,966	2,097,877	752,095	926,892

3) 今後40年間にかかるコスト試算 (シミュレーション)

今後40年間にかかるコストを試算すると、年平均約16.5億円の費用が必要になります。これは、経常経費を除く直近5年間の施設関連経費平均約12.5億円と比べると、毎年度約4億円不足します。

図 今後かかるコスト試算



《試算条件》

- 前提
 - 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
 - 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。
- 条件
 - 建築物の耐用年数は60年と仮定する。大規模改修は、建設後30年で行い、その後30年で建替えることとする。
 - 建替え及び大規模改修費用は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、
 建替え : 3年間
 大規模改修 : 2年間に振り分けて計上する。
 - 試算時点で、建設時からの経過年数が31年以上50年までの施設については、直近の10年間で均等に大規模改修を行うと仮定し、建設時より51年以上経過している施設については、建替えの時期が近いことから、大規模改修は行わずに60年を経過した年度に建替えることとする。

c) 単価

	建替え	大規模改修	維持補修費
学校教育系	33 万円/㎡	17 万円/㎡	3,000 円/㎡

※児童クラブ合計 1,353.52 ㎡, 石岡小学校温水プール 1,327 ㎡ 計 2,680.52 ㎡は試算に含んでいない。

4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 耐震対策は平成 27 年度においてすべて完了いたしました。
- 全体に古い施設が多く、老朽化の進行による劣化等が懸念されます。実際に主要部位に対策の必要な劣化も見受けられます。今後は少人数学習に対応した教室数の確保や新たな学習形態にあわせたスペース・設備の充実等を含めた全体計画の策定が必要です。

■ 利用に関する視点

- 児童生徒数の推移では、ピーク時の約 50%まで減少しており、人口推計を踏まえると今後も減少することが予測されます。特に、小規模校については、教育環境向上の観点からも施設再編を踏まえた検討が必要です。
- 学校施設は、公共施設保有面積の約 45%を占め、また施設数も多いことから市民に最も身近な施設となっています。今後は、老朽化した学校施設の更新時に、地域の人口動態等地区特性を踏まえ、地域の活動拠点となるような学校施設のあり方についても検討する必要があります。